

平成29年度

島根大学大学院人文社会科学研究科修士課程

言語・社会文化専攻 社会文化コース

(第1次) 入試問題

【 地理学 】

(私費外国人留学生入試)

注 意

- 1 問題紙 2 ページ, 解答用紙 2 枚, 下書き用紙 2 枚である。
- 2 指示があってから確認し, 解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 解答は, 解答用紙に清書すること。
- 4 問題紙, 下書き用紙は, 持ち帰ること。

問 1. 次ページの図 1 は 1950 年から 2010 年にかけての東京圏における人口増加率の推移を、東京特別区部と東京特別区部以外の東京圏に分けて示したものである。次ページの表 1 は一般的な都市圏における人口動態の推移モデルを示している。図表を見て下記の問いに答えよ。

- (1) 図 1 の①～⑤までの時期は表 1 の I～Vのどの段階に当たるのが適切と考えられるか選択せよ。なお、当てはまるものが無い場合は解答欄に×を記入すること。
- (2) 図 1 に示された東京圏における人口増加率の推移の特徴を、日本の地域間人口移動を踏まえて論述せよ。

問 2. 次の用語のうち、3つを選択し、各々説明しなさい。解答に際しては、設問番号および用語を記すこと。

- (1) 等質地域
- (2) 人口集中地区
- (3) 地中海式農業
- (4) 海女
- (5) グアノ
- (6) チャイナタウン

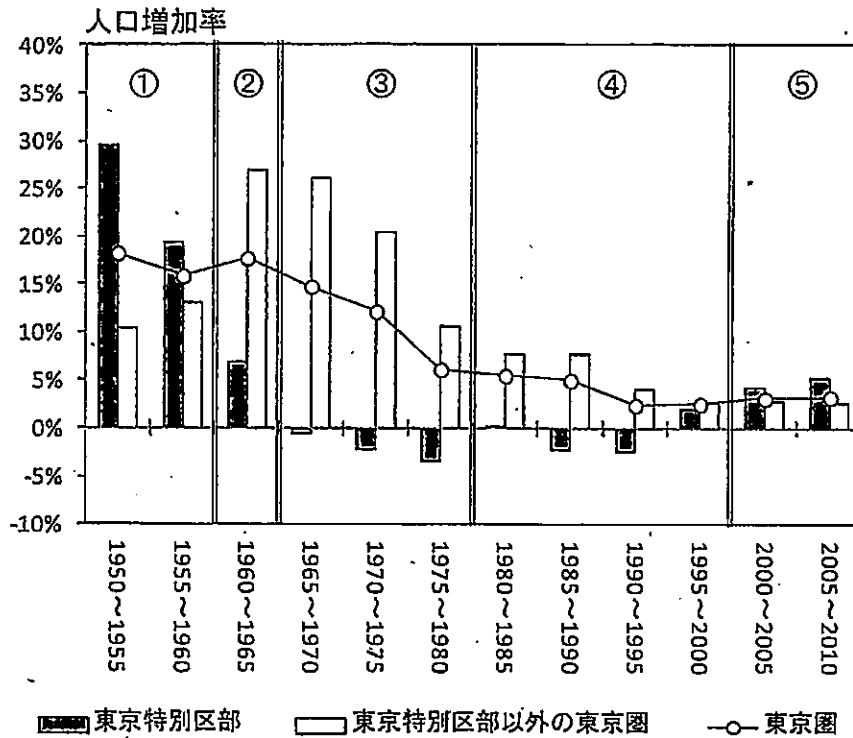


図1 東京圏における人口増加率の推移

出典：総務省「国勢調査」各年版から作成

注：東京圏は埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県を合計を示す。東京特別区部を中心都市、東京特別区部以外の東京圏を郊外とみなして良い。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

出典：富田和暁（2014）都市の発展段階モデル。藤井正・神谷浩夫編著「よくわかる都市地理学」ミネルヴァ書房：p 139. から引用

注：+は人口増、++は大幅な人口増、-は人口減を示す。